

近現代史(47)「戦間期西アジア・アフリカの民族運動」

○今回のポイント

西アジア各地でも運動が展開され、該当地域と関係が深いイギリスはその対処を行った。
アフリカの独立は1960年代から本格化するがその下地が作られていた。

【西アジア情勢】

(1)イギリス支配下のエジプト、アフガニスタン

①戦間期エジプト

A) 独立までの道のり

1914	エジプト保護国化	[1. <u>第一次世界大戦</u>]勃発と同時にオスマン帝国の主権を否認し保護国化
1919	反英運動高まる	エジプトの民族代表団[2. <u>ワフド</u>]を中心に大衆運動が広がる
1922	英、保護権を放棄	イギリスが一方的に条件付き独立を宣言。エジプト防衛権、スエズ運河駐屯権、スーダン領有権を留保した。[3. <u>エジプト王国</u>]の成立。
1936	4. <u>エジプト=イギリス同盟条約</u>	エジプトに完全な主権を認め、イギリス軍と官吏の退去を定めた。しかしスーダンとスエズ運河にはイギリスが駐兵を続けた。

B) イスラーム勢力の伸長

■世界恐慌とともに都市労働者、農村から流入した貧困大衆の間に経済的社会的格差に対する不満が拡大。

↓

■[5. ムスリム同胞団]の結成…1929年、ハサン=バンナーによる。現状の腐敗を攻撃し、イスラーム国家の樹立による社会的公正の実現を訴え、勢力を拡大した。

②戦間期アフガニスタン

A) [6. 第三次アフガン戦争]…イギリスの保護国であったアフガニスタンは1919年独立を宣言。侵入してきたイギリスと戦う。

B) アフガニスタン独立…第三次アフガン戦争の結果、[7. ラワルピンディー条約]でイギリスはアフガニスタンの独立を正式に承認。

(2)戦間期イラン

①第一次世界大戦と[8. カージャー朝ペルシャ]

・WWIでは中立をとったが英露により占領。革命でロシアは引き上げたがイギリスに半植民地化された。

②[9. パフレヴィー朝]の成立

・[10. レザー=ハーン]がクーデタで実権を握り、25年にパフレヴィー朝を開く。上からの近代化を促進し、35年には国名をペルシャから[11. イラン]に改称。

・国内の[12. 石油利権]はイギリスに残される。

(3)戦間期のアラビア半島

1924 [13. イブン=サウド]が、ワッハーブ王国の再建を目指して、アラブ独立運動の指導者であった[15. ヒジャーズ王国]のフサインを破る。

1926 イブン=サウドが[16. ヒジャーズ=ネジド王国]を建国

⇒ 27年、英とジェッダ条約を結んで承認される

1932 ヒジャーズ=ネジド王国、アラビア半島の大部分を統一。[17. サウジアラビア王国]成立

(4)英仏委任統治領下の中東

- 1919年 パリ講和会議にはフサインの三男[18. ファイサル]が出席
- 1920年3月 アラブ民族主義者たちはイラクとシリアの独立を宣言
- 1920年4月 仏による[19. シリア]、英による[20. イラク、パレスチナ]の委任統治領
- ・仏は即座にシリアに進駐し市民軍を撃破して[21. ダマスカス]を占領
⇒1941年にシリアから[22. レバノン]が分離独立。46年にシリアの委任統治終了。
 - ・英はイラクで委任統治に対する反乱を起こされる。
- 1921年 カイロ会議
- ・英はイラク王にフサインの子[23. ファイサル]を据え宥和⇒32年委任統治終了
 - ・英はトランスヨルダン王にフサインの子[24. アブドゥラー]を据え宥和⇒46年委任統治終了

(5)パレスチナ地方～イギリス三枚舌外交～

1915	25. フサイン=マクマホン協定	対トルコ反乱を条件としてアラブの独立支持を約束
1916	26. サイクス=ピコ協定	英仏露でトルコ領を分割し、パレスチナを国際管理地とする
1917	27. バルフォア宣言	ユダヤ人の資金援助を条件にユダヤ人国家建設を支持

☆戦後パレスチナはイギリスの委任統治領となったので混乱。現在まで続く深刻な対立が始まる。

【アフリカの民族運動】

(1)19世紀末～20世紀初頭のアフリカ民族運動

- ①[28. マフディーの乱] (1881～98)…マフディー(救世主)を称する[29. ムハンマド=アフマド]に率いられたスーダンのイスラム教徒による反英抵抗戦争。
- ②[30. サモリ=トゥーレ]の対仏抗争(1891～98)…ギニアの民族運動家サモリ=トゥーレがイスラム信仰を背景にサリ帝国を建て、フランスの侵略に対抗した。サモリはギニア独立の父[31. セクトゥーレ]の曾祖父。
- ③[32. アドワの戦い] (1896)…イタリア軍のエチオピア侵入で起こった戦闘。エチオピア皇帝メネリク2世がフランスから武器を提供されゲリラ戦で完勝。しかしエチオピアは1936年にイタリアに併合されている。
- ④[33. マジ=マジ反乱] (1905～07)…ドイツ領東アフリカ(現・タンザニア)で綿花強制栽培への反対から起こった対ドイツ反乱。白人の力を弱めると信じられた「魔法の水」(マジ)を飲んで戦ったことからの呼称。

(2)[34. アフリカ民族会議] (1912)

- ・南アフリカで創設。非暴力主義に基づいた人種差別撤廃運動を推進する為、南アフリカで創設された。80年[35. ジンバブエ]の独立に貢献し、91年には[36. アパルトヘイト]の撤廃を勝ち取った。

(3)[37. パン=アフリカニズム]

- ・19世紀末から始まるアフリカの解放運動。アメリカと[38. カリブ海]地域のアフリカ系知識人を中心にして欧米を舞台に展開した。

(4)[39. パン=アフリカ会議]

- ・1900年ロンドン…西欧植民地主義への抗議と人種差別への反対
- ・1919年パリ…アフリカ植民地における漸進的、段階的自治の推進

第二次大戦後に合体
アフリカの解放と統一を目指す

(5)[40. 西アフリカ国民会議]

- ・1920年 イギリス領[41. ガーナ]で開かれた民族主義運動のための会議。
- ・1940年代 [42. エンクルマ]がゴールドコースト会議人民党をつくって民族運動を進める。
- ・[43. 1957]年 最初の黒人アフリカ独立国ガーナを誕生させる。